

教科	科目	学年・課程	単位数
国語	現代文B	3年 普通科・ライフデザイン科	2
学習の目標			
<p>1 近代以降の文章について、読解・鑑賞の方法を習得し、ものの見方・考え方を深めること、また、自分の考えをまとめて適切に表現する能力（「書く」・「話す」）を身に付けることが目標です。</p> <p>2 2年次の現代文で培った「読む」力・「書く」力を、自分に必要な具体的な“生きる力”に高めていきます。</p>			
学習の内容			
<p>評論・小説・随想・韻文の4つのジャンルについて、近・現代を代表する筆者（作者）の作品を読み、現代文へのアプローチの仕方や読み解き方を学びます。理解や表現に必要な、基礎的な語彙力を充実させることに力点をおいて学習します。</p> <p>現代社会や人間の普遍的な問題について、自分の日常や将来の生き方に結びつけて考える取り組みを実践していきます。基礎的語彙を適切に組み合わせる使えるか、などの実践力・応用力の養成に力点をおきます。</p> <p>学習予定作品は、随想「食と想像力」 小説「話を聞かせて」 評論「記憶のゆがみ」「物語を発現する力」 評論「鏡としての他者」 小説「卒業」 短歌と俳句「折々のうた」 評論「経験の教えについて」 小説「山月記」「僕らの時代のメディア・リテラシー」です。</p>			
評価の観点			
<p>1 関心・意欲・態度 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしているかを評価します。</p> <p>2 話す・聞く能力 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めているかを評価します。</p> <p>3 書く能力 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めているかを評価します。</p> <p>4 読む能力 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているかを評価します。</p> <p>5 知識・理解 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けているかを評価します。</p>			
評価の方法			
<p>1 上記の5つの評価の観点から総合的に評価します。</p> <p>2 考査、授業ノート、提出物、小テスト、授業・課題への取組など、全ての学習活動を評価の対象とします。</p>			
その他			
<p>「読む」「書く」「話す」「聞く」能力は、我々の生活や自己実現にとって欠かせない、基本的な能力であり、その根本は、すでに家庭生活や義務教育の中で育まれているでしょう。</p> <p>しかし、我々の生きる社会は日々多様化し複雑さを増しています。特に、21世紀を担う生徒の皆さんは、世界中の（宗教や歴史政治信条の異なる）人々と対話していかなければなりません。立場や意見を異にする人々ともスムーズに意思疎通でき、さらに、深く豊かな情操を感じ、普遍的な人間性に思いを致すことが、混迷する現代を生き抜く力を支えるものと信じます。</p> <p>それには、まず、基礎的語彙が身に付くまで、何度も何度も繰り返し読み書くことです。そして、文章を声に出して読んでみてください。また、学習は目と頭だけではありません。五感をフルに活用して、楽しく取り組みましょう。国語力は読書量に比例するとも言われています。本校では、「朝の読書」に取り組んでいます。これをよい機会として、本に親しんでください。</p> <p>授業で分からないことがあったら、すぐに質問しましょう。</p>			

教科	科目	学年・課程	単位数
国語	古典B	3年普通科Ⅱ・Ⅲ類型	2
学習の目標			
<p>1 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養います。</p> <p>2 進路目標に応じた古典の学力を身に付けることを目標とします。</p>			
学習の内容			
<p>1 古文編 古文を読むことに必要な基礎知識（古典文法や古文単語など）を身に付けながら、内容を把握した上で、筆者の考えや登場人物の心情などを理解し、表現方法の特色などにも注目して、作品を読み味わうことを目標に学習します。 学習予定作品は 物語（一）：「伊勢物語」 歴史物語：「大鏡」 物語（二）：「源氏物語」です。</p> <p>2 漢文編 漢文を読むことに必要な基礎知識（訓点・語法・漢詩のきまりなど）を身に付けながら、内容を把握した上で、筆者の考えや心情、登場人物の人物像などを理解し、表現方法の特色などにも注目して、作品を読み味わうことを目標に学習します。 学習予定作品は 小話：「燕雀安知鴻鵠之志哉」 古詩：「子夜呉歌」 思想：「老子」 日本の漢詩文：「信玄と謙信」です。</p>			
評価の観点			
<p>1 関心・意欲・態度 先人のものの見方、感じ方、考え方を通して、古典に親しみ、言語文化に対する関心を広げたり、深めたりしようとしているかを評価します。また、生涯にわたって国語を尊重し、その能力の向上を図る態度が身に付いているかを評価します。</p> <p>2 読む能力 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、探究的に発展させているかを評価します。</p> <p>3 知識・理解 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けているかを評価します。</p>			
評価の方法			
<p>1 上記の3つの評価の観点から総合的に評価します。</p> <p>2 考査、授業ノート、提出物、小テスト、授業・課題への取組など、全ての学習活動を評価の対象とします。</p>			
その他			
<p>古典作品には、先人のものの見方や感じ方、考え方などが表れます。古典の学習を通して、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり、深めたりしましょう。古典特有の語彙や表現の技法について理解するには、複数の古典作品の読み比べや現代との比較など、多面的な視点が欠かせません。予習復習をしっかりとて授業に臨むように心掛けてください。</p>			

教科	科目	学年・課程	単位数
地理歴史	地理B	3年普通科Ⅲ類型	4
学習の目標			
1 現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し理解を深めることを目指します。 2 世界が直面する諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養うことを目指します。			
学習の内容			
<b>【第Ⅲ編 現代世界の地誌的考察】</b> アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカ、オーストラリア等、世界の諸地域における人々の生活・文化、産業についての学習を通して、国際社会における日本の役割を考えていきます。また、現在の交通・通信・貿易の動向を通して、我が国と世界の結び付きについて学習を深めます。これらを念頭に置き、日本の自然や産業、人口、伝統文化等わが国の特色や課題を世界的視野を持って考えます。			
評価の観点			
1 関心・意欲・態度 地理的事象に興味・関心や探究心を持ち授業に取り組んでいるか、また、積極的な授業態度が身に付いているかを評価します。 2 思考・判断・表現 世界各地で発生している様々な事象を把握、考察できているかを評価します。また、その内容の研究・分析を行い、適切に表現できているかを評価します。 3 資料活用の技能 統計資料を読み解き活用する力を身に付けているかを評価します。 4 知識・理解 地理に関する基本的な内容を理解し、身に付けているかを評価します。			
評価の方法			
1 関心・意欲・態度 … 授業態度・提出物などを基に評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考査の結果や、授業中に行う作業学習などを基に評価します。 3 資料活用の技能 … 授業中に行う作業学習などを基に評価します。 4 知識・理解 … 定期考査の結果を基に評価します。			

教科	科目	学年・課程	単位数
公民	政治・経済	3年普通科 I・II 類型・ライフデザイン科	2
学習の目標			
<p>1 現代社会の学習を基礎として、民主主義の本質について理解を深めることを目指します。</p> <p>2 政治・経済に関する諸課題に対して、多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養うことを目指します。</p>			
学習の内容			
<p><b>【第1編】 現代の政治</b></p> <p>第1章では、民主政治の基本原則と日本国憲法を、第2章では、現代の国際政治と日本の現状を学習します。また、私たちと政治とのかかわりを様々な制度を通して考えていきます。</p> <p><b>【第2編】 現代の経済</b></p> <p>第1章では、現代経済のしくみと特質を、第2章では、国民経済と国際経済を学習します。また、現代社会における雇用や賃金体系の変化を学ぶ中で、豊かさとは何かを考えていきます。</p> <p><b>【第3編】 現代社会の諸課題</b></p> <p>第1章では、現代日本の政治や経済の諸課題を、第2章では、国際社会の政治や経済の諸課題を学習します。少子高齢化問題・食糧問題・公害問題など、現代の社会で解決しなければならない課題を、政治と経済を結び付けて考えていきます。</p>			
評価の観点			
<p>1 関心・意欲・態度 政治・経済に関する出来事に興味・関心や探究心を持ち、意欲的にそれらに取り組んでいるか、また積極的な授業態度が身に付いているかを評価します。</p> <p>2 思考・判断・表現 世界の中で我が国が置かれている現状を把握し、考察できているかを評価します。また、その内容の研究・分析を行い、適切に表現できているかを評価します。</p> <p>3 資料活用の技能 統計資料を読み解く力を身に付けているかを評価します。</p> <p>4 知識・理解 政治・経済に関する基本的な内容を身に付けているかを評価します。</p>			
評価の方法			
<p>1 関心・意欲・態度 … 授業態度・提出物などを基に評価します。</p> <p>2 思考・判断・表現 … 定期考査の結果や、授業中に行う作業学習などを基に評価します。</p> <p>3 資料活用の技能 … 授業中に行う作業学習などを基に評価します。</p> <p>4 知識・理解 … 定期考査の結果を基に評価します。</p>			

教 科	科 目	学 年 ・ 課 程	単位数
数 学	数 学 III	3 年普通科 III 類型	6
学習の目標			
<p>1 平面上の曲線と複素数平面 平面上の曲線がいろいろな式で表されること及び複素数平面について理解しそれらを事象の考察に活用できるようにします。</p> <p>2 極限 微分法、積分法の基礎として極限の概念を理解し、それを数列や関数値の極限の考察に活用できるようにします。</p> <p>3 微分法 いろいろな関数についての微分法を理解し、それを用いて関数値の増減やグラフの凹凸などを考察し、微分法の有用性を認識するとともに、具体的な事象の考察に活用できるようにします。</p> <p>4 積分法 いろいろな関数についての積分法を理解し、その有用性を認識するとともに図形の求積などに活用できるようにします。</p>			
学習の内容			
<p>1 平面上の曲線と複素数平面 平面上の曲線の直交座標、媒介変数、極座標による表示と、複素数平面について学習します。</p> <p>2 極限 数列の極限、関数とその極限について学習します。</p> <p>3 微分法 導関数、導関数の応用について学習します。</p> <p>4 積分法 不定積分と定積分、積分の応用について学習します。</p>			
評価の観点			
<p>1 関心・意欲・態度 平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法、積分法における考え方に関心を持っているか、また、意欲的に課題に取り組むとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを身近な事象の考察に活用しようとする態度を身に付けているかを評価します。</p> <p>2 数学的な見方や考え方 平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法、積分法における数学的な見方や考え方を見いだそうとしているか、また、見いだした数学的な見方や考え方を基に事象を捉え、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えているかを評価します。</p> <p>3 数学的な技能 平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法、積分法において、事象を数学的に考察して適切な計算方法やグラフを用いて処理できているか、事象を表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決できているかを評価します。</p> <p>4 知識・理解 平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法、積分法における基本的な概念、原理、法則、用語記号などを理解し、基本的な知識を身に付けているかを評価します。</p>			
評価の方法			
<p>1 上記の4つの評価の観点から総合的に評価します。</p> <p>2 考査・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とします。</p>			

教 科	科 目	学 年 ・ 課 程	単位数
数 学	数学探究 I	3 年普通科Ⅲ類型	3
学習の目標			
<p>1 方程式と不等式 数の拡張の意義を理解し、式の見方を豊かにするとともに、1次方程式・1次不等式及び2次方程式についての理解を深め、それらを活用できるようにします。</p> <p>2 2次関数 関数の意味について理解を深めるとともに、関数の最大値・最小値を求めることや2次不等式の解を求めることができるようにします。</p> <p>3 図形と計量 正弦、余弦及び正接の意味や正弦定理・余弦定理を理解し、平面図形や空間図形の計量などに活用できるようにします。</p> <p>4 場合の数と確率 集合と要素の個数、場合の数、確率について理解を深め、それらを活用できるようにします。</p> <p>5 平面図形 三角形の性質、円の性質について理解を深めます。</p>			
学習の内容			
<p>1 方程式と不等式 式の計算、実数、方程式と不等式について学習します。</p> <p>2 2次関数 2次関数とグラフ、2次関数の値の変化、2次不等式について学習します。</p> <p>3 図形と計量 三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量について学習します。</p> <p>4 場合の数と確率 集合と要素の個数、場合の数、確率について学習します。</p> <p>5 平面図形 三角形の性質、円の性質について学習します。</p>			
評価の観点			
<p>1 関心・意欲・態度 方程式と不等式、2次関数及び図形と計量における考え方に関心を持っているか、また、意欲的に課題に取り組むとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを身近な事象の考察に活用しようとする態度を身に付けているかを評価します。</p> <p>2 数学的な見方や考え方 方程式と不等式、2次関数及び図形と計量における数学的な見方や考え方を見いだそうとしているか、また、見いだした数学的な見方や考え方を基に事象を捉え、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えているかを評価します。</p> <p>3 数学的な技能 方程式と不等式、2次関数及び図形の計量において、事象を数学的に考察して適切な計算方法やグラフを用いて処理できているか、事象を表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決できているかを評価します。</p> <p>4 知識・理解 方程式と方程式、2次関数及び図形と計量における基本的な概念、原理、法則、用語記号などを理解し、基本的な知識を身に付けているかを評価します。</p>			
評価の方法			
<p>1 上記の4つの評価の観点から総合的に評価します。</p> <p>2 考査・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とします。</p>			

教科	科目	学年・課程	単位数
数学	数学探究Ⅱ	3年普通科Ⅲ類型	3
学習の目標			
<p>1 式と証明・高次方程式 数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことや因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにします。</p> <p>2 図形と方程式 直線や円などの平面図形の性質や関係を数学的に考察し処理するとともに、その有用性を認識し、いろいろな図形の考察に活用できるようにします。</p> <p>3 いろいろな関数 三角関数、指数関数及び対数関数について理解し、関数についての理解を深めそれらを具体的な事象の考察に活用できるようにします。</p> <p>4 微分・積分の考え 具体的な事象の考察を通して微分・積分の考えを理解し、それを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができるようにします。</p> <p>5 平面と空間のベクトル ベクトルの基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係についての考察に活用できるようにします。</p> <p>6 数列 簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できるようにします。</p>			
学習の内容			
<p>1 式と証明・高次方程式 式と計算、等式・不等式の証明、複素数と方程式の解、高次方程式について学習します。</p> <p>2 図形と方程式 点と直線、円、軌跡と領域について学習します。</p> <p>3 いろいろな関数 三角関数と加法定理、指数関数と対数関数について学習します。</p> <p>4 微分・積分の考え 微分係数と導関数、関数の値の変化、積分法について学習します。</p> <p>5 平面と空間のベクトル 平面上のベクトルと空間のベクトルについて学習します。</p> <p>6 数列 数列とその和、漸化式と数学的帰納法について学習します。</p>			
評価の観点			
<p>1 関心・意欲・態度 数学的活動を通して、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数、微分法と積分法、ベクトル、数列における考え方に関心を持っているか、また、意欲的に課題に取り組むとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、考察に活用しようとする態度を身に付けているかを評価します。</p> <p>2 数学的な見方や考え方 数学的活動を通して、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数、微分法と積分法における数学的な見方や考え方を見いだそうとしているか、また、見いだした見方や考え方を基に事象を捉え、論理的に考えるととも思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えているかを評価します。</p> <p>3 数学的な技能 式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数、微分法と積分法において、事象を数学的に考察して適切な計算方法やグラフを用いて処理できているか、事象を表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決できているかを評価します。</p> <p>4 知識・理解 式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法における基本的な概念、原理・法則、用語記号などを理解し、基本的な知識を身に付けているかを評価します。</p>			
評価の方法			
<p>1 上記の4つの評価の観点から総合的に評価します。</p> <p>2 考査・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とします。</p>			

教科	科目	学年・課程	単位数
理科	生物	3年 普通科Ⅲ類型	4
学習の目標			
<p>1 生物や生命現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高めま す。</p> <p>2 生物学的に探究する能力や態度を身に付けながら、基本的な概念や原理・法則を理解し て科学的な自然観を身に付けることを目指します。</p>			
学習の内容			
<p>1 生命現象と物質 細胞、タンパク質、代謝、遺伝情報の発現、バイオテクノロジーについて学びます。</p> <p>2 生殖と発生 動物・植物の発生、配偶子形成、生殖について学びます。</p> <p>3 生物の環境応答 動物の刺激の受容と反応、行動、植物の環境応答について学びます。</p> <p>4 生態と環境 個体群と生物群集、エネルギーの流れ、生態系について学びます。</p> <p>5 生物の進化と系統 生命の起源と生物の変遷、進化の仕組み、生物の系統について学びます。</p>			
評価の観点			
<p>1 関心・意欲・態度 生物学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、それらを意欲的に探究するとともに、生物 学的なものを見方を身に付けているか評価します。</p> <p>2 思考・判断・表現 生物学的な事物・現象の中に問題を見だし、観察・実験などを行うとともに、実証的・ 論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、導き出した考えを表現できるかを 評価します。</p> <p>3 観察・実験の技能 生物学的な事物・現象に関する観察実験の技能を習得するとともに、それらの過程や結果 を的確に記録、整理できるかを評価します。</p> <p>4 知識・理解 生物学的な事物・現象についての基本的な概念や原理や法則を理解し、知識を身に付けて いるかを評価します。</p>			
評価の方法			
<p>1 評価の内訳は、「関心・意欲・態度」20%、「思考・判断・表現」30%、「観察・実験の技 能」20%、「知識・理解」30%です。</p> <p>2 定期考査、授業中の学習の様子、観察・実験の技能、課題の提出状況などをもとに評価を 行います。</p>			
その他			
<p>○生物の実験では、薬品を使用しますので、先生の指示に従って安全に実験してください。</p> <p>○授業で分からないことがあったら、理科の先生へすぐ質問しましょう。</p>			



教科	科目	学年・課程	単位数
理科	物理	3年 普通科Ⅲ類型	4
学習の目標			
<p>1 物理的な事物・現象についての観察、実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養うことを目指します。</p> <p>2 進路目標に応じた理数系の能力を身に付けることを目指します。</p>			
学習の内容			
<p>1 力と運動 力のモーメント、運動量の保存、円運動や万有引力、単振動などの複雑な運動について数学的な手法を用いて、理解を深めます。</p> <p>2 熱力学 気体の分子運動論から状態方程式を導き、熱機関の基礎的な知識について学びます。</p> <p>3 波動 波の干渉や音のドップラー効果、光の屈折・干渉など波動について発展的な内容を学習します。</p> <p>4 電気と磁気 電場と電位、電流と磁場、電磁誘導と交流、電磁波など電磁気に関する諸現象について学習します。</p> <p>5 原子 電子や光の粒子性と波動性など量子力学の基礎的な事項を学びます。原子核についても学習し、エネルギー問題について考察します。</p>			
評価の観点			
<p>1 関心・意欲・態度 物理的な事物・現象に関心や探究心を持ち、それらを意欲的に探究するとともに、科学的なものの見方を身に付けているかを評価します。</p> <p>2 思考・判断・表現 物理的な事物・現象の中に問題を見だし、観察・実験などを行うとともに、結果を的確に分析し、実証的・論理的に判断、考察する力を評価します。</p> <p>3 観察・実験の技能 物理的な事物・現象に関する観察実験の技能を習得しているか、また、それらを科学的に探究する方法を身に付けているかを、観察・実験の過程を通して評価します。</p> <p>4 知識・理解 物理的な事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているかを評価します。</p>			
評価の方法			
<p>1 評価の内訳は、「関心・意欲・態度」20%、「思考・判断・表現」30%、「観察・実験の技能」20%、「知識・理解」30%です。</p> <p>2 定期考査、授業中の学習の様子、観察・実験の技能、課題の提出状況などをもとに評価を行います。</p>			
その他			
<p>○ 授業で分からないことがあったら、すぐ質問しましょう。</p> <p>○ 理学・工学系の進学希望者が中心の講座です。</p> <p>○ 公式の理解や発展学習のために、数学Ⅲを履修しておくことが望ましいです。</p>			

教科	科目	学年・課程	単位数
理科	化学	3年 普通科Ⅲ類型	4
学習の目標			
<p>1 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養うことを目指します。</p> <p>2 進路目標に応じた理数系の能力を身に付けることを目指します。</p>			
学習の内容			
<p>1 物質の状態と物質の変化と平衡 気体、液体、固体の性質を観察、実験などを通して探究し、物質の状態変化、状態間の平衡について理解します。また、化学反応に伴うエネルギーの出入りや反応速度について化学反応に関する概念や法則を理解するとともに、日常生活と関連付けて考察します。</p> <p>2 無機物質 典型元素、遷移元素について、日常生活や社会と関連付けて学習し、定性分析ができるように金属元素全体の内容を深めます。</p> <p>3 有機化合物 有機化学の基礎を講義と実験で学びます。生活に身近なアルコール、エーテル、油脂、セッケンなどは、具体的な化合物を生活必需品から調べ、より内容を深化させます。また、芳香族化合物は医薬品や染料の分野への応用を紹介し、反応経路を考察します。</p> <p>4 高分子化合物 タンパク質、アミノ酸、糖類、核酸の化学構造を分子モデルで考察し、検出反応や特性を理解します。生活の中で日常的に用いられている合成繊維、プラスチック、ゴムは、化学反応を中心に学び、環境問題も考察します。</p>			
評価の観点			
<p>1 関心・意欲・態度 化学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的なものの見方を身に付けているかを評価します。</p> <p>2 思考・判断・表現 化学的な事物・現象の中に問題を見だし、観察・実験などを行うとともに、実証的・論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、事実に基づいて導き出した考えを表現できるかを評価します。</p> <p>3 観察・実験の技能 化学的な事物・現象に関する観察実験の技能を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理できるかを評価します。</p> <p>4 知識・理解 観察・実験などを通して、化学的な事物・現象についての基本的な概念や原理や法則を理解し、知識を身に付けているかを評価します。</p>			
評価の方法			
<p>1 評価の内訳は、「関心・意欲・態度」20%、「思考・判断・表現」30%、「観察・実験の技能」20%、「知識・理解」30%です。</p> <p>2 定期考査、授業中の学習の様子、観察実験の技能、課題の提出状況などをもとに評価を行います。</p>			
その他			
化学の実験では、薬品を使用しますので、先生の指示に従って安全に実験してください。			

教科	科目	学年・課程	単位数
保健体育	体育	3年普通科Ⅲ類型・ライフデザイン科	2
学習の目標			
<p>各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。</p>			
学習の内容			
<p>体づくり運動では、自己の体力や生活に応じて、体の調子を整えるなどの体ほぐしの運動を行います。特に体力を高める運動を行い、体力の増進を目指します。体づくりでは運動実施後の達成感や充実感が得られるよう、内容を精選しコミュニケーションや人との触れ合い、言語活動能力を養っていきます。</p> <p>球技では、年間の気候を考慮した授業を計画します。ネット型(バレーボール・バドミントン・テニス・卓球) ベースボール型(ソフトボール) ゴール型(サッカー・バスケットボール)から選択し、ボールを用いて、集団的スキルや個人的スキルを発揮し、攻撃と防御を展開し、勝敗を争うことの中から、作戦を立てたり、工夫をしたりすることの楽しさを味わいます。</p> <p>陸上競技では、学校外のコースを自分の能力に応じたペースで走ったり、記録に挑戦したりして、自己の課題を克服する気持ちを育てます。</p> <p>体育理論ではスポーツのルールはもちろんのこと運動の大切さやメカニズムについて理解させ、生涯を通じて運動を実践できる能力や態度を養っていきます。</p> <p>ダンスではフォークダンスをみんなで踊ったり、創作したりすることにより、リズムに乗って体を動かすことの楽しさを味わうとともに、自他の良さを認め合うことの大切さを育てます。</p>			
評価の観点			
<p>1 関心・意欲・態度 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように自ら進んで計画的に運動しようをしているか評価します。 公正・協力・責任などの社会的態度が身に付いているか評価します。 健康や安全に留意して運動しようとしているか評価します。</p> <p>2 思考・判断 自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけだしているか評価します。 課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫しているか評価します。</p> <p>3 運動の技能 己の能力と運動の特性に応じた課題を目指して運動を行い技能を高めているか評価します。 自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けているか評価します。</p> <p>4 知識・理解 社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し身に付けているか評価します。</p>			
評価の方法			
<p>1 各運動種目とも、スキルテスト・グループノート等を利用して評価します。 特に集団競技においてはグループでのミーティング・グループ練習での活動を大切に、ゲーム終了後にチームの問題点をフィードバックして修正する時間を与え、活動の様子も評価します。</p> <p>2 各運動種目とも、「関心・意欲・態度 20%」「思考・判断 20%」「運動の技能 40%」「知識・理解 20%」で評価します。</p>			



教科	科目	学年・課程	単位数
外国語	英語表現Ⅱ	3年普通科Ⅱ・Ⅲ類型	2
学習の目標			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学んだことに基づき、情報や考えなどをまとめて発表できるようになることを目指します。</li> <li>2 情報や考えが相手に適切に伝わるように書くことができるようになることを目指します。</li> <li>3 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ることができるようになることを目指します。</li> </ol>			
学習の内容			
<p>Part 2 パラグラフを書く</p> <p>Lesson1 ロボットの有用性（パラグラフの構成/列挙・順序）</p> <p>Lesson2 英語を学ぶ意義（例示・追加）</p> <p>Lesson3 都会と田舎（比較・対照）</p> <p>Lesson4 若者の本離れ（原因・理由・結果）</p> <p>Lesson5 ベジタリアン（要点・要約）</p> <p>Part 3 英語で発音する</p> <p>Lesson1 プレゼンテーション</p> <p>Lesson2 ディスカッション</p> <p>Lesson3 ディベート</p>			
評価の観点			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを評価します。</li> <li>2 外国語表現の能力 学習したことや与えられた話題について、英語で話したり書いたりして表現できているかを評価します。</li> <li>3 外国語理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解しているかを評価します。</li> <li>4 言語や文化についての知識・理解 言語やその運用についての知識を身に付け、その背景にある文化などを理解しているかを評価します。</li> </ol>			
評価の方法			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各学期の評価は、コミュニケーションへの関心・意欲・態度、外国語表現の能力、外国語理解の能力、言語や文化についての知識・理解を総合的に評価します。</li> <li>2 授業での小テストや課題への取組、提出物、授業態度なども評価の対象とします。</li> <li>3 長期休業中の課題も評価の対象とします。</li> </ol>			